

# 平成24年度事業評価シート

事業名	20400		秘書事務費	担当課	企画管理部 秘書課		内線 2406
	枝番						
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策		
	款	2	総務費		分野		
	項	1	総務管理費		基本施策		
	目	4	秘書費		施策		
根拠計画							
実施計画事業							
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交際、渉外に関する業務の遂行</li> <li>・各自治体などとの連携、情報収集</li> </ul>		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長、副市長によるトップセールス</li> <li>・市長、副市長の円滑な日程調整</li> </ul>		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外自治体(ペルー共和国ウルバンバ郡、昆明市)との交流促進</li> <li>・災害時応援協定など国内自治体(篠山市、蒲郡市)との連携</li> <li>・飛騨市長連合(飛騨市、下呂市、白川村)での連携</li> </ul>				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	早朝市民面談	件	目標値			
		算出根拠等		実績値	168	175	-
				達成率(%)			
	活動指標	市民・団体などとの面談	件	目標値			
		算出根拠等		実績値	396	546	-
				達成率(%)			
				目標値			
				実績値			-
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値			-	
			達成率(%)				
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	7,930	9,112	12,135	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		7,930	9,112	12,135		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	85	98	131	
	受益者	全市民(4月1日)	(B)	93,822	93,312	92,861	

## 3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか</li> <li>・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか</li> </ul>	A (2) ニーズが高い	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長面談については、広報紙、HPをはじめとして、市長自らもさまざまな会合などでPRされており、「公開」「対話」「市民参画」の市政運営の柱の一つをなす取組みとなっている</li> </ul>	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が事業主体であることは妥当か</li> <li>・国・県・民間の活動と競合していないか</li> </ul>	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体経営のトップの考えを自らの言葉で市民に伝えることで、市政推進のPRに大きな役割を果たしている</li> </ul>	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的とする成果があがっているか</li> <li>・成果指標などの目標値の達成状況はどうか</li> </ul>	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の自治体や大学などとの新たな連携と交流が広がってきているほか、海外誘客、外貨獲得、販売促進のPRなど、その成果は着実に表れてきている</li> </ul>	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最小限のコストで事業を実施できているか</li> <li>・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか</li> <li>・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか</li> <li>・受益者負担は適正か</li> </ul>	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り同一方面での出張先の面談を調整することで、効率的なスケジュール調整を行っている</li> </ul>	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか</li> <li>・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか</li> <li>・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか</li> </ul>	A (2) 効果があった	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長の各種公約実現に向けて、財源の獲得、交流人口の拡大など市長、副市長自らが直接行動しての活動である</li> </ul>	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		8 / 10	→	100点換算	80 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)

市政運営の礎として「公開」「対話」「市民参画」を念頭におき、自治体経営者のトップの考えや行政運営の方針を市役所組織内に的確に周知し、わかりやすい市民への広報について常に意識的に取り組む組織の土壌づくりと職員意識の向上、さらには現状に滞留することのないシステムの在り方の検討が必要である

(参考) H23事業評価結果(二次評価)

各種公約の実現に向けて引き続き取り組んでいく

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	市長公約の実現に向けて、「公開」「対話」「市民参画」を市政運営の柱として、引き続き積極的に取り組んでいく				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成24年度事業評価シート

事業名	20515	表彰関係事務費	担当課	企画管理部 秘書課		内線 2406
	枝番					
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	7 構想の推進	
	款	2 総務費		分野	1 市民参画	
	項	1 総務管理費		基本施策	1 市民と行政が協働してまちづくりに取り組む	
	目	5 広報費		施策	3 パートナーシップの構築	
根拠計画						
実施計画事業						
市長公約						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	市政の振興に寄与された方々の功績を称えることによる市民協働の推進		
概要	事業の実施手法(手段)	市表彰式の開催により、市政の進展に協力いただいた市民を表彰し、市民協働のまちづくりを進める		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>市制施行75周年記念式典と併せて市表彰を実施</li> <li>表彰の内規を見直し、被表彰者の範囲を拡大(栄誉功労表彰)</li> </ul>				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	成果指標	被表彰者数	人	目標値			
		実績値			50	128	-
	算出根拠等	市制記念日における被表彰者数	達成率(%)			-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)(A)		2,693	7,753	3,300		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源	2,693	7,753	3,300			
コスト指標	受益者1件当たり(円)(A/B)		29	83	36		
	受益者	市民(4月1日現在)(B)	93,822	93,312	92,861		

## 3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)			
① 市民ニーズの確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか</li> <li>社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか</li> </ul>	A (2)	ニーズが高い	A	市民の功績に対する表彰により、市民と行政のパートナーシップの構築につながっている			
		B (1)	ある程度のニーズがある					
		C (0)	ニーズが低い					
② 市が実施する必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が事業主体であることは妥当か</li> <li>国・県・民間の活動と競合していないか</li> </ul>	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	市政の振興発展に尽力された方を市が表彰して称えるものであり、市民感情を勘案してそのニーズに沿っており、市民協働のまちづくりに寄与している			
		B (1)	一部見直しが必要である					
		C (0)	市が実施する必要性が低い					
③ 活動内容の有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的とする成果があがっているか</li> <li>成果指標などの目標値の達成状況はどうか</li> </ul>	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	毎年市制記念日にあわせて順次、表彰を行っているが、被表彰者数を目標値として設定することは困難であり、数値として達成状況を評価することは適当ではない			
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている					
		C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である					
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>最小限のコストで事業を実施できているか</li> <li>委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか</li> <li>国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか</li> <li>受益者負担は適正か</li> </ul>	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	表彰規程に基づき実施しているが、過度に華美にならないよう必要最小限に留めて実施している			
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている					
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である					
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか</li> <li>総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか</li> <li>市長公約の実現を図る上で有効に機能したか</li> </ul>	A (2)	効果があった	A	被表彰者を称えるため市制記念日において表彰するほか、広報紙にも掲載し、広く市民に周知している			
		B (1)	ある程度効果があった					
		C (0)	あまり効果が見られなかった					
合計		8	/	8	→	100点換算	100	点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	各所管課における被表彰者の掘り起こしとともに、市政の進展に貢献された被表彰者を市民を挙げて称えていく土壌の醸成に努めていく必要がある
--	--

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	H23年度については、市制施行75周年の節目年として通年より規模を拡大して行うが、24年度については22年度並みの規模で実施する
----------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	11月1日の市制記念日に併せて表彰式を実施する
-----------------	-------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	H23年度は市制施行75周年の節目年として通年より規模を拡大して表彰を行ったが、25年度については24年度並みの規模で実施する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	(担当課評価に同じ)				